

平成29年度 事後事務事業評価シート

事業名	農業ICT化普及推進事業	担当課・グループ	作成者（職・氏名）
		産業経済課・農林業グループ	主事 加賀谷 龍平

1 基本事項

事業区分	事業開始年度	平成28年度	事業主体	会計区分	予算科目		
	事業終了年度	平成32年度	町	一般	6	1	2 936
事業の性質	法令に基づかない自主的事業			条例等の有無	無		
根拠法令・例規計画等	リアルタイムキネマティック測位方式全地球航法衛星システム等導入支援事業補助金交付要綱						
総合計画	基本目標	みのり豊かなあつま					
	基本施策	農業の振興					
	施策項目	生産を強化するシステムづくりの推進					
	※総合戦略	みのり豊かなあつま―農業の振興―農業の成長産業化					

2 事業概要 (Plan)

事業の目的	経営規模の拡大や、働き手不足の解消、経営の効率化等を目的に、農業生産の効率化と労働力少量化のためのICT技術の導入について支援する。
事業の内容 (手段・方法等)	①RTK-GPS基地局設置…RTK-GPS配信型基地局 3,000千円×2基 (平成28年度) ②RTK-GPS対応化支援事業…GPSガイダンスのRTK対応化(約100万円)及び自動操舵(約80万円)の導入を支援。3分の1助成、上限90万円。
対象	町内に事務所又は住所を有し、かつ自ら農業を営む農業者、法人又は農業者で組織する団体。町内農家戸数約350戸。
成果目標	町内におけるRTK-GPSガイダンス及び自動操舵などの関連機器の導入を増やし、農業生産の効率化、労働力の確保を図る。

3 実施結果 (Do)

① 事業費

単位：千円

事業費の推移	26年度実績 (評価対象前々年度)	27年度実績 (評価対象前年度)	28年度実績 (評価対象年度)	29年度予算 (評価実施年度)	適用
総事業費	0	0	9,851	6,006	
事業費	0	0	8,609	4,764	
特定財源					
国・道支出金					
町債					
その他			8,609	4,162	ふるさと応援基金繰入金
一般財源				602	
人件費 (@4,000*時間数)			1,242	1,242	事務事業時間配分計算表(別紙)により算定
事業費の主な内訳					
備品購入費			5,757		RTK-GPS基地局×2基
負担金補助及び交付金			2,462	4,500	H28 導入補助90万円×3件 H29 導入補助90万円×5件分
役務費			108	261	RTK-GPS基地局運用のための通信費
工事請負費			270		RTK-GPS基地局運用のためのインターネット回線開通工事費用等

旅費			12	3	
----	--	--	----	---	--

② 実績・成果

指標名称		26年度(実績) (評価対象前年度)		27年度(実績) (評価対象年度)		28年度(見込) (評価実施年度)		32年度 (目標年度)	
		数値	単位	数値	単位	数値	単位	数値	単位
主な成果指標	RTK-GPS導入台数	目標				5	台	25	台
		実績				3	台		台
		達成度		%		%	60	%	0
	※数値化できない成果や指標の変更等について記載する 当初の想定では利用人数となっていたが、導入する経営体は大規模経営体を中心であり、1経営体に対し複数台導入されることも考えられることから、人数ではなく台数に変更。								
主な活動指標	ICT関連機器の導入件数	目標				0	件	5	件
		実績				0	件		件
		達成度		%		%	0	%	0
	※数値化できない活動内容や指標の変更等について記載する 当初は6~8基以上設置しなければ町内一円を網羅できない無線方式を検討していたため、RTK-GPS基地局の設置数としていたが、インターネット方式に切り替えたことにより、基地局の増台は必要なくなったため、目標を変更。								

4 事業の評価 (Check)

評価項目	評価の視点	評価結果	説明
妥当性	実施主体・目的・対象・手段等は公平かつ妥当か？	A	平成28年度中に市販された低速でも自動操舵が可能な高性能機材に合わせ上限額を改定、補助率については国の経営体育成支援事業に合わせ3分の1で設定している。
有効性	期待された成果が得られたか？	B	RTKシステムは汎用性が高く、また、自動操舵についても疲労軽減や作業の簡易化によるオペレータ不足の解消が期待されるが、実証段階であるので普及センターなどと協力しデータの収集を行う。
効率性	コスト面からみた費用対効果は適正か？	B	事業実施初年度であるため、現在は利用人数が少ない状態である。今後の課題として、利用人数の増加が挙げられる。

※評価結果は、A：妥当である B：概ね妥当である C：あまり妥当でない D：妥当でない で評価する

5 今後の方向性・課題・改善提案等

予算	継続(現状維持)	サービス	継続(現状維持)	方向性	現状維持
理由	予算、サービスについては年5台を目標、高性能自動操舵の金額に合わせ28年度中に上限額を90万円に引き上げているので現状維持。方向性については利用者の拡大を図るため基地局の利用範囲についての拡大を検討している。				
課題および改善提案	導入補助については集会や個別送付などでPRしているが、導入金額が高いこと、町内事例が少ないことなどから導入に踏み切る農業者がすくないのが現状である。RTK-GPS基地局の利用拡大を目指すため、とまこまい広域農業協同組合に基地局の活用を継承し、町内外での利用者の拡大、事例普及により、町内利用者を増やしてい				

※予算・サービスは「継続(拡大・現状維持・縮小)」および「終了」から、方向性は「拡大」「現状維持」「縮小」「終了」から選択。

6 評価 (本欄は、理事者ヒアリング・内部評価委員会で使用するため事業担当課は入力しないでください)

予算	継続(現状維持)	サービス	継続(現状維持)	方向性	現状維持
意見	-				

7 外部評価委員会評価結果

予算	継続（現状維持）	サービス	継続（現状維持）	方向性	現状維持
附帯意見	—				
その他意見	<ul style="list-style-type: none"> ・自動操舵等のICT関連機器の普及を加速させるため、実証試験を行うなどをして、実際に農家に見学してもらつ機会を作るべき。 ・道の農業試験場や農業改良普及センターとの連携を模索すべき。 				

評価に対する町の考え方

- ・自動操舵に関する技術については、既に先進地において実証試験が完了しており、関連機器の普及が進んでいる状況にあります。町内においても、機械メーカーなどが農業者に機器を貸し出している実証試験は既に実施しており、また、町もそれを把握している際には町内のICTに興味を持つ農業者に対し場所と日時を周知するなどしています。
- ・現在、振興局で実施している「胆振地域農業技術課題」事業で、町内での利用におけるデータ収集などについて要望しているところです。